

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
大阪動物専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和 5 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和 6 年度学校関係者評価委員会

< 委 員 > (五十音順)

礒山 倫花 氏 オアシス動物病院 動物看護師長
大西 佑来 氏 株式会社UG Dogs Come home 店長
大西 里奈 氏 株式会社majun-family Natural Pet Space majun
大引 健 氏 株式会社ケイディーシー トリミング課 課長
高橋大二郎 氏 大東電機工業株式会社 営業部 部長
道満 直樹 氏 有限会社ペッツピー・ディー 代表取締役
丸野 莉菜 氏 株式会社 AHB PetPlus SVH 寝屋川店 店長
畑中 学 氏 株式会社ヘイドッグズ 代表取締役
森本茅紗記 氏 ル・レーヴ動物病院 動物看護師長

< 事務局 >

山下 浩 大阪動物専門学校 校長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標は、『教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。』としている。また、学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学の特色は、独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。これにより、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識と技能を身に付け、動物関連企業のみならず異業種企業や官公庁にも就職している。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p>

	<p>入学希望者には、わかりやすくオープンキャンパス等で説明している。また、保護者には最新のお知らせ等を年に4回送付している。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入している。</p> <p>この基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・資格取得など、例年安定している印象があり、今後も取得率の安定を期待している。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では基本目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げており、この学園の基本目標は、教職員全員に周知徹底されており、教務室、事務室、就職相談室などに掲示している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営のための組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金の処遇に関する制度として、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は企画本部または部次長会議で行っており、理事会、評議員会、部次長会議、責任者会議、課会議、動物企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>入学案内書などで情報公開しオープンキャンパス等で入学希望者や保護者に配布・説明している。また、就職実績や合格者情報では、本人の了承を得てイニシャル・出身校名を掲載することにより適切な内容となっている。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>学務システム(入試システムおよび学籍管理システム)、経理システムを個々に運用している。また、インボイス制度や改正電帳法に対応するため、BillOneを導入した。就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワーク(VPN 網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。全教職員にパソコンを貸与し、情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでいる。学生に対してはMicrosoft アカウントを付与し、オンライン授業等行える環境を整えている。在学生への求人情報の提供、学校が取りまとめる求人への申込をオンライン化</p>

	<p>し、「民間就職支援ポータルサイト」として運用している。</p> <p>この基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「資格・就職・キャンパス」を目標にしていることが感じられる。就職活動を意識して、普段から挨拶等のビジネスマナーを指導していることは素晴らしいことだと感じる。
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか カリキュラムは、学科で目標とする資格の取得および業界のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界の人材ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 教務内容は、動物関連業界からの人材ニーズに対応すべく設定し、修業年限で業界が求めるレベルに到達することを可能にしている。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか インターンシップ先、学内就職セミナーで得た意見と年2回開催する教育課程編成委員会での意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行って反映させている。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか 専門科目以外にビジネスマナー、就職ゼミナールなどの科目を設置している。また、企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、求められる人物像などの説明を直接学生にさせていただいており、企業からも一定の評価をいただいている。</p> <p>ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか 1年次には、約1週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携し行っている。また、定期的に企業と連携して講習会を行っている。</p> <p>ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか 学生による授業評価アンケートを実施して、授業システム見直しのために資料として活用している。普段から他の教職員の授業も教室に入って見学している。</p> <p>ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 成績評価および単位認定は、学則及び専門課程便覧に基づき、年2回厳正に行っている。学生には入学式及び授業初日にも説明をしている。</p> <p>チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。</p> <p>リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教職員を確保して</p>

	<p>いるか</p> <p>採用の際、専門性、人間性、教授力、必要資格などを確認し、それらの要件を備えた教職員を採用している。</p> <p>ヌ. 教職員の能力開発のための研修等が行われているか</p> <p>年間を通じ自己啓発研修の実施し、また定期的に外部団体等との連携により最新の動向を取り入れる研修を教職員に対して実施し教職員個々のレベルアップを図っている。</p> <p>この基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ学習は他校にない特色の一つであり、実際に勉強への意欲につながったと思う。 ・インターンシップ実習において、他校では日程や期間が定められていることから、学生主体で動けない部分が見られる。本学校では常に対応できる体制であることから柔軟に日程を決められるため動きやすいと感じる。
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>本学は、就職担当者と担任が連携を取りながら学生指導に当たっている。また、本学独自の学内就職セミナーには例年多数の企業に参加していただいている。また、毎週就職会議を行いその結果を前年度と比較して推移を把握しており、同時に就職部が学園全体も把握し学園内各校とも比較している。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>学園内の各校と定期的に資格取得率向上のカリキュラム会議を開き、試験内容に変更がある場合には、その内容にすぐに適応できるように体制を整えている。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>一人も退学者を出さずことなく入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ教職員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退学者の入学選考時の情報分析を行い、退学者の傾向を把握した上で対策を行うと良いのではないかと。 <p>(回答) 入学選考は、書類審査と面談にて行っているが、ネガティブな要素を聞き取る等はできていない。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職支援、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策、インターンシップなどの指導を行っている。また、人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p>

	<p>相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄については、学生相談室を設置している。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じている。保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度は貸与ではなく給付となっている。さらに、令和2年度よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として大阪府より確認されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を年に1回4月に全学生を対象に実施している。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>ドッグスポーツクラブをはじめ、野球部、サッカー部、吹奏楽部、応援団、チアリーダー、和太鼓部、などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要であり、本学では学生寮運営に実績のある企業に依頼し学校提携寮として遠隔地出身者に紹介している。また、学生マンションの企画、管理、仲介を全国的に行っている企業と業務提携を行っている。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績状況、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者に連絡を取り、面談をしながら学生の指導を行っている。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>立志舎グループは「高校生の就職を応援します」と銘打ち、高校生のための就職セミナー、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、特に意見はなかった。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、実習室、教務室、事務室などを設置し、維持管理については定期的な点検整備を行い、学内に担当者を置き、専門業者に定期的な点検整備を依頼、実施している。</p> <p>ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>学生が希望するインターンシップ先を担任と協力して受け入れ活動を行っている。インターンシップ受け入れ先からは高く評価され、就職内定へとつながっている。また、ペットに関する博覧会の見学、アジリティー大会、ドッグ</p>

	<p>ショー見学、高齢者施設でのドッグセラピー、動物施設等の学外学習、海外ペット研修を実施するなど十分な教育体制を整備している。</p> <p>ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌に規定し、定期的に防災訓練を行い防火管理者を置き、消防計画を立てている。</p> <p>X線装置を専用室で防護ボックス内に設置しており、定期的に漏洩検査を行っている。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備に関して、学校としては広い方だと思う。 ・ 防犯目的でのカメラは時代的には必要かもしれないが、プライバシーを考えると難しいと思う。
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、きちんと把握している合格状況や就職状況に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>教育成果は、その内容や表現において真実性、明瞭性また法令遵守が必要であることを認識し広報を中心に入学案内書やガイドブックを作成し学生募集活動をしている。そのために具体的な数字を示すことや合格者等をイニシャルで掲載することにより志望者や保護者の方に信頼が得られる内容となっている。入学者に対するアンケートを実施し、その結果卒業生の活躍が入学にあたりとても参考になったという意見もあった。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤に問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弊社では、購入者向けの悩み相談などに対応するコミュニティアプリがある。入学希望者や学生向けに気軽にコミュニケーションが取れるアプリがあると良いのではないか。 <p>(回答) 入学希望者にはLINE、在学生にはMicrosoft Teamsを使用し、コミュニケーションツールとして活用しているが、さらに多くの声を拾い上げられる活用法を考えていく。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p>

	<p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成および執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会および評議員会へ報告している。</p> <p>私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>以上の点から財務については適切に運用および管理されている。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、適切に運用および管理されていると評価された。</p> <p>多くの学生が入学されているので安心している。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、教職員に対し法令遵守規程を作成し徹底している。さらに必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布するなど、法令、設置基準を遵守するための施策や法令遵守規程を作成し、実施している。また、学生に対しても入学時に配布する専門課程便覧に「ソーシャルメディアガイドライン」、「ハラスメント防止ポリシー」を記載して法令、道徳指導を適宜実施している。</p> <p>そして、毎年、大阪府専修学校各種学校連合会より指導員を招いて人権研修を実施している。</p> <p>本学は動物取扱業として大阪府に登録しており、動物取扱責任者を選任し必要な知識や技術を習得している。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護に関しては、特定個人情報管理規程、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて個人情報の取扱いについて注意喚起を行っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、特定非営利活動法人 職業教育評価機構の基準により、点検、評価を行っている。</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開している。</p>

	<p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この時代、コンプライアンスに関してはより深くしていく必要がある。ハラスメントについては多様化された時代で対応が大変だと思う。企業も同じ状況である。
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っている。また、学園祭では地域住民の方を招待し地域活性化に協力している。</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか 学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。地域との連携や交流が社会貢献につながるという観点から、高齢者施設でのドッグセラピー活動や浜寺公園進行競技会からの依頼を受け、浜寺ローズカーニバルで犬のふれあい広場を設置し、地域との連携を行なっている</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか 家庭飼育犬オーナー様を対象に、本学のドッグトレーナー講師が「ワンちゃんライフ講習会」を開催、また中学生を対象とした職業体験の受入れ、企業主催の獣医師向けセミナーはあるものの、まだまだ学校の教育資源や施設を活用した地域に対する連携は弱いため、さらに強化したいと考えている。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域貢献はとても良いことだと思う。